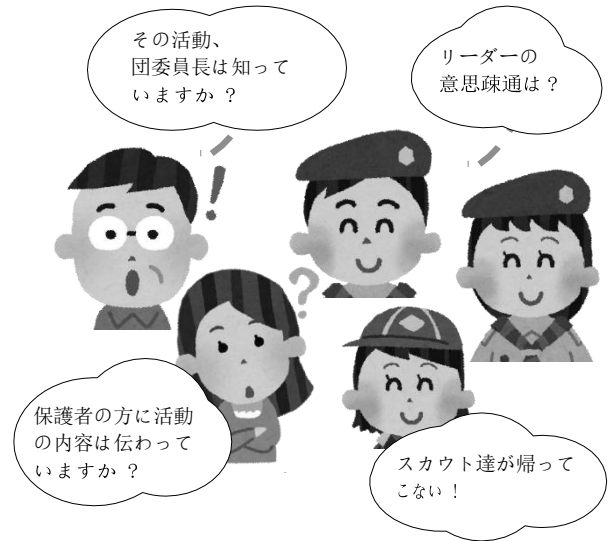


～ あなたの団は大丈夫ですか！？～

# 実践する ワークショップ スカウト活動の 危機管理

ボーイスカウトではスカウトの成長を促すために、冒険的な要素が多く危険も伴います。今回の定型外研修では、ボーイスカウト活動における危機管理についてワークショップ形式で体感していただきます。安全に気を配るばかりで活動を萎縮させてはなりません、多くの方が共通の意識と情報を持っていれば、安心して活動をすすめることもできます。団委員長、団委員、隊指導者、保護者の皆様と多くの方のご参加をお願いいたします。



7月10日（日）

9:30 受付 10:00～16:00

川西市中央公民館 2階会議室

〒666-0003 川西市丸の内町5番1号

Tel 072-758-0103

申込切

7月2日（土）阪神北地区指導者委員長 竹村好行

メール [inve@mvh.biglobe.ne.jp](mailto:inve@mvh.biglobe.ne.jp)

tel&fax 072-770-9411

服装

制服、または私服（団のネッカチーフがあれば着用願います）

持ち物

筆記用具、昼食、マイカップ、指導者手帳（指導者など必要な方のみ）

申込対象

団委員長 団委員 隊指導者 育成会役員 育成会員

定員

40名

講師紹介

高橋正幸氏（自治体危機管理研修所長・神戸第23団）

プロフィール

平成7年の阪神・淡路大震災に際し、神戸市斎園管理協会総務部長として遺体火葬業務の現場調整にあたり、その後、4年間にわたり仮設住宅の調整、被災者の自立支援の市責任者として被災者、行政機関、報道との連絡調整にあたった。その体験をもとに、神戸市新規採用職員危機管理研修の指導、ロールプレイ危機管理研修T-メソッドを考案・開発、各種職員研修、JICA インドネシア教員研修、東京都葛飾区職員危機管理研修(2009年～延34回)等でT-メソッド研修を指導、その受講者は延べ6,500名に上る。また、東日本大震災神戸市支援員、阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会などの活動とともに、スカウト活動では平成26年度、兵庫連盟危機管理検討委員会委員長として「日本ボーイスカウト兵庫連盟における、危機管理のあり方答申」を取りまとめている。現在も自治体危機管理研修所長として多方面で活躍されている。

開催：ボーイスカウト阪神北地区指導者委員会

## プログラム

- §1・はじめに～なぜ今危機管理研修か
- §2・危機管理を考える
- §3・日常の延長線上の危機（Risk）～想定すべき状況下の危機管理～
- §4・危機管理下のチーム・スピリットとミッション
- §5・非日常の危機（Crisis）～想定外の状況下の危機管理～
- §6・課題事例研究③～日常を超える非日常の危機～
- §7・課題事例研究④～メディア対応～
- §8・そなえよつねに～ワークショップのまとめとして～
- §9・質疑応答と全体のまとめ

## 【交通アクセス】



### 川西市中央公民館

所在 〒666-0003 川西市丸の内町5番1号

電話 072-758-0103

能勢電鉄「滝山駅」下車南へ徒歩約7分

阪急バス「阪急電車 川西能勢口駅 南側」バスターミナル（2）番のりば12・13  
系統に乗車4つ目停留所「丸の内町」下車すぐ